



東白川小だより

令和5年4月20日(木) No2

校長 桂川 辰也

滑り出し上々

新年度がスタートして2週間が経ちました。どの子を見ても「よし、やるぞ!」という意気込みを感じます。特に6年生は「めんどくさい」「やりたくない」などの後ろ向き発言を一切口にせず(バスの運転手さん達も褒めていました)、全ての活動に取り組んでいます。運動会などの行事や委員会、分団会、なかよしグループなどの改まった場面だけでなく、日常生活での姿が下級生の手本となっていることが素晴らしいと思います。坂道登下校では、全ての分団が先頭から最後まで大きく間が開くことなく、歩くペースが上がりました。6年生の前向きな姿勢が、下級生に伝わっているからこそその姿だと思います。2年生も、一年前とは比較にならないたくましい姿で1年生に手本を示しています。



専門性と多くの目で「鍛え・伸ばす」



昨年度より、小中の授業交流をしています。今年度も中学校の先生に5年、6年の英語と3年、5年、6年の音楽を担当して頂きます。校内でも越野教頭が3年～6年の書写、3年の理科、教務主任の渡辺が3年、4年の英語活動と6年の家庭科を担当します。体育の授業についても、低学年(1・2年)、中学年(3・4年)、高学年(5・6年)で行います。読み聞かせも、低学年、中学年、高学年で実施し、夢風船の皆さんとの触れ合いを増やします。

「5月8日からの新型コロナウイルス感染症対応について」

連休明けより、新型コロナウイルスの感染症の分類が2類から5類に変わります。それに伴って学校での感染症対策も変わってきます。まずは「**学校生活の全ての場面でマスク着用は自由**」となります。これで、学校教育目標の副題「**自分を出し切り笑顔いっぱい**の学校に」の実現に向け、また一歩近付くことが出来ます。

※ 来校者の皆様にもマスク着用をお願いしてきましたが、今後はマスク無しでも大丈夫です。

※ 「欠席」や「出停」、健康チェックカードの扱いについては、県教委の方針が決まり次第お知らせします。当面は今まで同様でお願いします。